

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・Z125 PRO』が首位を獲得！

対象期間 2016年6月～8月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2016年6月～8月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。18回目となる今回は「カワサキ・Z125 PRO」が首位を獲得しました。

◇『カワサキ・Z125 PRO』 が首位獲得！

◇カワサキ・W800 は生産終了のあおりを受けて
の高値か

◇反面、他の大型車種は減少傾向に



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：淀瀬、岩岡

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z125 PRO	80.6Pt
2	ホンダ・CB1300 SUPERBOLD'OR	78.6Pt
3	ホンダ・モンキー	78.0Pt
4	カワサキ・ZRX1200DAEG	75.0Pt
5	ヤマハ・MT-03	74.0Pt
6	ホンダ・クロスカブ	73.6Pt
7	カワサキ・W800	73.5Pt
8	ホンダ・CRF250L	72.8Pt
9	ヤマハ・SEROW250	72.7Pt
10	ホンダ・CB400 SUPERFOUR ABS	72.6Pt

◇対象期間 2016年6月～8月

18回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・Z125 PRO』が2位に2.0pt差を付け首位に輝きました。

カワサキ・Z125 PROは、カワサキが誇る名門「Z」シリーズの末弟として2016年4月にデビューした新型モデルです。フロント倒立フォークやオフセットレイリアサスペンション、メーター内のギアポジションインジケータなど、同クラスのなかでも豪華な装備が特徴です。また、トルクの谷がないスムーズなエンジンフィーリングや、クラス特有の軽量ボディなど、小柄な人や女性にも十分に扱いやすい車種となっています。今回が初ランクインとなりましたが、発売から約4カ月が経ち中古市場に出回り始めたばかりの高値傾向であると思われます。

今回のランキングでは、W800が第7回（2014年1月発表）以来2年9カ月ぶりのランクインとなりました。これは、2016年10月1日から適用される排ガス新規制（断続生産車は2017年9月1日より適用）によって生産終了が決まり、ファイナルエディションが発表された同車種に対する需要が再燃したものと推測されます。

また、大型二輪のランクイン数が、前回（対象期間2016年3月～5月）5車種から3車種へと減少しました。これは、春のバイクシーズン真っただ中で高ポイントとなっていた大型車種の需要が落ち着き、車検が不要なクラスの車種がセカンドバイクやエントリーバイクとして需要が高まったものと考えられます。

これから秋が深まり春先に次ぐバイクシーズンに突入していく中、今後のランキングも大きな変動を見せるのでしょうか？

引き続き、『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z125 PRO	80.6Pt
2	ホンダ・モンキー	78.0Pt
3	ホンダ・クロスカブ	73.6Pt
4	ヤマハ・CYGNUS-X SR	71.2Pt
5	ホンダ・PCX	69.9Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CRF250L	72.8Pt
2	ヤマハ・SEROW250	72.7Pt
3	ヤマハ・MT-25	71.9Pt
4	ヤマハ・YZF-R25	71.3Pt
5	カワサキ・Ninja250	69.5Pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・MT-03	74.0Pt
2	ホンダ・CB400 SUPERFOUR ABS	72.6Pt
3	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	71.8Pt
4	ホンダ・CB400 SUPERBOLD'OR	67.8Pt
5	ヤマハ・YZF-R3 ABS	67.2Pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CB1300 SUPERBOLD'OR	78.6Pt
2	カワサキ・ZRX1200DAEG	75.0Pt
3	カワサキ・W800	73.5Pt
4	ヤマハ・MT-09 TRACER ABS	72.3Pt
5	ヤマハ・MT-07 ABS	71.8Pt

■『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2016年10月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間11.7万台(2015年11月期)の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2016年10月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2016年10月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史